

う蝕学分野

【著書】

- 1) Kaneko T, Sueyama Y, Okiji T, Nör JE: Laser Capture Microdissection in Tumor Angiogenesis Research related to Bcl-2 Expression on Endothelial Cells: A Review. Understand Cancer - Research and Treatment (ISBN: 978-1-922227-386), EDt. iConcept Press, 2016.
- 2) 金子友厚, 伊藤崇史, 山本信一: トムソン・ロイター シリーズ エンドのための重要 20 キーワード ベスト 240 論文, クインテッセンス出版, 2015.
- 3) 竹中彰治, 興地隆史: 洗口液なるほど活用術. デンタルダイヤモンド社, 東京, 2016.

【論文】

- 1) Yoshiba N, Yoshiba K, Ohkura N, Takei E, Edanami N, Oda Y, Hosoya A, Nakamura H, Okiji T: Correlation between fibrillin-1 degradation and mRNA downregulation and myofibroblasts differentiation in cultured human dental pulp tissue. J Histochem Cytochem 63(6): 438-448, 2015.
- 2) Han L, Kodama S, Okiji T: Evaluation of calcium-releasing and apatite-forming abilities of fast-setting calcium silicate-based endodontic materials. Int Endod J 48(2): 124-130, 2015.
- 3) Han L, Okiji T: Dentin tubule occluding ability of dentin desensitizers. Am J Dent 28(2): 90-94, 2015.
- 4) Han L, Okiji T: An ion extract obtained from mineral trioxide aggregate induced dentin remineralization and dentinal tubule occlusion in artificially demineralized bovine dentin. Am J Dent: 2016 (in press).
- 5) Sakaue Y, Domon H, Oda M, Takenaka S, Kubo M, Fukuyama Y, Okiji T, Terao Y: Anti-biofilm and bactericidal effects of Magnolia bark-derived magnolol and honokiol on Streptococcus mutans. Microbiol Immunol 60(1): 10-16, 2016.
- 6) Shigetani Y, Yoshiba K, Takei E, Yoshiba N, Yamanaka Y, Ohshima H, Okiji T: Temporospatial localisation of dentine matrix protein 1 following direct pulp capping with calcium hydroxide in rat molars. Int Endod J 48(6): 573-81, 2015.
- 7) Shigetani Y, Ohkura N, Yoshiba K, Ohshima H, Hosoya A, Yoshiba N, Okiji T: GaAlAs laser-induced pulp mineralization involves dentin matrix protein 1 and osteopontin expression. Oral Dis: 2016 (in press).
- 8) 韓 臨麟, 興地隆史: S-PRG フィラー抽出液の人工脱灰象牙質に対する象牙細管封鎖効果. 日歯保存誌

58(1): 17-25, 2015.

- 9) 韓 臨麟: フッ化物, fTCP 配合ハミガキによるエナメル質耐酸性及び象牙細管封鎖性に関する研究. 日歯保存誌 59(2): 2016 (印刷中)
- 10) 枝並直樹, 重谷佳見, 吉羽邦彦, 日向 剛, 吉羽永子, 興地隆史: ラット皮下組織における 4-META 含有レジン系シーラーの生体親和性. 日歯保存誌 59(1): 65-73, 2016.
- 11) 末山有希子, 金子友厚, 伊藤崇史, 興地隆史: lipopolysaccharide 刺激による幹細胞の CD146 mRNA 発現への影響. 日歯保存誌 58(5): 282-289, 2015.
- 12) 山本信一, 韓 臨麟, 興地隆史: S-PRG フィラー抽出液によるヒト象牙質切削面の細管封鎖と元素の移行. 日歯内療法誌 37(1): 31-36, 2016.

【商業誌】

- 1) 吉羽邦彦: 生物学的にみた MTA の有効性 - MTA の生物学的特性と直接覆髄後の歯髄反応. 日本歯科評論 75(9): 45-50, 2015.
- 2) 吉羽邦彦, 興地隆史: 実践歯学ライブラリー MTA がエンドを進化させる MTA の臨床 直接覆髄法への応用. DENTAL DIAMOND 40(9): 39-44, 2015.
- 3) 竹中彰治, 興地隆史: 一般消費者は洗口液に何を期待しているか? アンケート調査結果から患者の心理を読み解く③ DHstyle 9(4): 58-60, 2015.
- 4) 竹中彰治, 興地隆史, 濃野要: 洗口液で口臭予防は可能か? ① DHstyle 9(5): 66-70, 2015.
- 5) 竹中彰治, 興地隆史, 濃野要: 洗口液で口臭予防は可能か? ② DHstyle 9(6): 56-58, 2015.
- 6) 竹中彰治, 興地隆史, 濃野要: 洗口液で口臭予防は可能か? ③ DHstyle 9(7): 56-60, 2015.
- 7) 竹中彰治, 興地隆史, 濃野要: 洗口液で口臭予防は可能か? ④ 二酸化塩素含有洗口液は口腔バイオフィルムを破壊できる? DHstyle 9(8): 54-58, 2015.
- 8) 竹中彰治: 難治性根尖性歯周炎の細菌学. 季刊歯科医療 29(2): 21-29, 2015.
- 9) 竹中彰治, 興地隆史: 洗口液で口臭予防は可能か? ⑤~茶カテキン~ DHstyle 9(9): 48-52, 2015.
- 10) 竹中彰治, 興地隆史: 術後感染予防のための含嗽剤を再考する. DENTAL DIAMOND 40(12): 56-63, 2015.
- 11) 竹中彰治, 興地隆史, 濃野要: 洗口液で口臭予防は可能か? ⑥ 医薬部外品洗口液の口臭抑制効果. DHstyle 9(11): 54-56, 2015.
- 12) 竹中彰治, 興地隆史: 機能水のエビデンス① 次亜塩素酸水についてわかっていること, いないこと. DHstyle 9(12): 52-56, 2015.
- 13) 竹中彰治, 興地隆史: 機能水のエビデンス② オゾ

ン水についてわかっていること、いないこと. DHstyle 9(13): 58-60, 2015.

- 14) 竹中彰治, 興地隆史: 洗口液の意義. DHstyle 10(1): 54-56, 2016.
- 15) 渡部 平馬, 風間龍之輔, 浅井哲也, 金谷史夫, 石崎裕子, 福島正義, 興地隆史: CAD/CAM時代におけるレジンセメントのテクニカルエッセンス. 歯界展望 126(2): 258-272, 2015.

【研究費獲得】

- 1) 吉羽永子: 歯髄創傷治癒・再生のための α -SMA陽性線維芽細胞を軸とした多角的アプローチ. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 25462952, 2015.
- 2) 韓 臨麟: アパタイト形成能を有する生体機能性セメントの開発とう蝕象牙質再石灰化療法への展開. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 25462954, 2015.
- 3) 竹中彰治: バイオフィーム制御の概念転換の必要性の提示とマトリックスを標的とした制御戦略開発. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 26462876, 2015.
- 4) 金子友厚: 自家ラット臼歯歯髄幹細胞を用いた歯髄組織再生法の確立. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 15K11110, 2015.
- 5) 若松里佳: 介助者・医療従事者のためのバイオフィームの分散・剥離を焦点にあてた制御戦略の開発. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 若手研究(B), 15K20401, 2015.
- 6) 大倉直人: 実験的歯髄炎におけるトランスポーターを介したプロスタグランジン E2 輸送機構の解析. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 若手研究(B), 25861794, 2015.
- 7) 大墨竜也: 抗菌成分作用後のストレス反応によるバイオフィーム再形成促進機構の解明. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 研究活動スタート支援, 15659945, 2015.
- 8) 吉羽邦彦, 吉羽永子, 金子友厚(研究分担者): ラット切歯歯髄幹細胞による臼歯歯髄の再生: 自己幹細胞移植による歯髄再生への展開. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B)(研究代表者: 興地隆史) 26293405, 2015.
- 9) 韓 臨麟(研究分担者): Tooth wear(咬耗)の診断基準策定のための生理的磨耗と象牙質露出調査. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)(研究代表者: 石崎 裕子) 23592794, 2015.
- 10) 竹中彰治(研究分担者): 高齢者の介護予防のため

の口腔機能評価および管理からなる包括的システムの15年間の効果およびフレイルティへの対応に関する研究. 8020研究事業(研究代表者: 藤本篤士) 2015-2016.

- 11) 吉羽邦彦: 新規ケイ酸カルシウム系歯内療法用セメントに関する研究. 共同研究: 日本歯科薬品株式会社, 2015-2016.
- 12) 吉羽邦彦: 4-META 含有レジン系シーラーの生体親和性. 寄附金: サンメディカル, 2015.
- 13) 吉羽邦彦: 新潟大学研究支援経費, 2015.
- 14) 韓 臨麟: 生体機能性材料 S-PRG フィラーに関する研究. 共同研究: 松風株式会社, 2015.
- 15) 韓 臨麟: コンポジットレジン材料の評価について. 寄附金: GC, 2015.
- 16) 韓 臨麟: ケイ酸カルシウム系歯内療法用材料の開発. 共同研究: 日本歯科薬品株式会社, 2015.
- 17) 韓 臨麟: fTCP 配合歯磨きによる歯質に与える影響に関する研究. 寄附金: 3M, 2015.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 渡部平馬: CAD/CAM を用いたクラウン製作の現状. 2015 年度日本接着歯学会シンポジウム「CAD/CAM クラウンの臨床を考える」. 日本歯科大学新潟生命歯学部, 新潟, 2015 年 7 月 5 日.

【学会発表】

- 1) Ito T, Kaneko T, Sueyama Y, Okiji T: Dental Pulp Tissue-engineering with Stem Cells in Rat Molars. FDI 2015 Annual World Dental Congress, Thailand, September 22-25, 2015.
- 2) Edanami N, Takei E, Hinata G, Takeuchi R, Tohma A, Shigetani Y, Yoshida N, Yoshida K: Reparative dentinogenesis after pulp-capping with calcium silicate-based materials. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Lombok, Indonesia, January 9-11, 2016.
- 3) Sueyama Y, Kaneko T, Ito T, Okiji T: Influence of lipopolysaccharide-stimulation on CD146 mRNA expression in dental pulp stem cells, 24th Wilhelm Bernhard Workshop on the cell nucleus Vienna, Austria, August, 17-22, 2015.
- 4) Sueyama Y, Kaneko T, Ito T, Okiji T: Effects of lipopolysaccharide for three kinds of dental pulp related stem cells. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Lombok, Indonesia, January 9-11, 2016.
- 5) Tenkumo T, Takeuchi Y, Hong G, Ishida Y, Takeishi R,

- Mimura S, Syuto T, Oka H, Yoshiba K, Fujii N, Ono K, Tsuga K, Taji G, Takahashi N, Uoshima K, Nikawa H, Sasaki K, Sugai M, Maeda T: Achievement of sophisticate dental education program in collaboration with Niigata, Tohoku and Hiroshima Universities. 6th Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, Hiroshima, October 23-25, 2015.
- 6) Uoshima K, Akiba N, Yoshiba K, Ono K, Maeda T, Tekachi Y, Tenkumo T, Sasaki K, Tsuga K, Sugai M: A Newly developed technical assessment of dental students in Japan. American Dental Education Association (ADEA) Annual Session & Exhibition, Denver, Colorado, March 12-15, 2016.
- 7) 韓 臨麟, 山本信一, 興地隆史: ケイ酸カルシウム系歯内療法用セメント抽出液が人工脱灰象牙質に与える影響. 第 65 回日本歯科理工学会学術大会, 仙台, 2015 年 4 月 11-12 日.
- 8) 韓 臨麟, 山本信一, 興地隆史: 試作ケイ酸カルシウム系覆髄材の *in vitro* における生体機能性評価. 第 36 回日本歯内療法学会学術大会, 鶴見, 2015 年 7 月 12 日, プログラムおよび講演抄録集:72 頁, 2015.
- 9) 韓 臨麟, 山本信一, 興地隆史: 新規 1 液性ワンステップ接着システムの歯面処理効果および接着界面微細構造. 第 66 回日本歯科理工学会学術大会, 東京, 2015 年 10 月 3-4 日
- 10) 韓 臨麟, 山本信一, 興地隆史: 酸性あるいはアルコール含有ドリンクへの浸漬が各種ペーストタイプコンポジットレジジン表面の微細構造に及ぼす影響. 日本歯科保存学会 2015 年度秋季学術大会 (第 143 回), 2015 年 11 月 12-13 日, 東京, プログラムおよび講演抄録集: 118 頁, 2015.
- 11) 庭野和明, 中島 努, 齊藤一誠, 吉羽邦彦: モーションキャプチャーシステムを用いたファイル操作解析のための力学的モデル. 日本歯科保存学会 2015 年度秋季学術大会 (第 143 回), 2015 年 11 月 12-13 日, 東京, プログラムおよび講演抄録集: 157 頁, 2015.
- 12) 金子友厚, 伊藤崇史, 末山有希子, 興地隆史: ラット間葉系幹細胞を用いたラット臼歯冠部歯髓の再生について. 第 36 回日本歯内療法学会学術大会, 鶴見, 2015 年 7 月 11-12 日.
- 13) Kaneko T, Sueyama Y, Ito T, Okiji T: Macrophage-like cells are differentiated from stem cells in engineered pulp tissues. 第 63 回 JADR 学術大会. 福岡, 2015 年 10 月 30-31 日.
- 14) 若松里佳, 竹中彰治, 大墨竜也, 坂上雄樹, 興地隆史: 象牙細管への次亜塩素酸ナトリウムの浸透性. 日本歯科保存学会 2015 年度秋季学術大会 (第 143 回), 東京, 2015 年 11 月 12-13 日.
- 15) 大倉直人, 重谷佳見, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 興地隆史: 培養ヒト歯髓の各種遺伝子発現に対する prostaglandin EP4 レセプターアゴニストの影響. 第 36 回日本歯内療法学会学術大会, 横浜, 2015 年 7 月 11-12 日, プログラムおよび抄録集: 71 頁, 2015.
- 16) 大倉直人, 枝並直樹, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 依田浩子, 大島勇人, 興地隆史: ヒト歯髓におけるプロスタグランジン E2 輸送担体および特異的レセプターの免疫組織学的局在解析. 第 57 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2015 年 9 月 11-13 日, プログラム: 367 頁 2015.
- 17) 大倉直人, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 小田陽平, 興地隆史: 培養ヒト歯髓に対する prostaglandin EP4 レセプターアゴニストの影響. 日本歯科保存学会 2015 年秋季学術大会 (第 143 回), 東京, 2015 年 11 月 12-13 日, プログラムおよび抄録集: 28 頁, 2015.
- 18) 伊藤崇史, 金子友厚, 山中裕介, 末山有希子, 吉羽邦彦, 興地隆史: ラット臼歯における幹細胞混合三次元スキャホールドを用いた歯髓再生. 日本歯科保存学会 2014 年度春季学術大会 (第 142 回), 北九州, 2015 年 6 月 25 日, プログラムおよび講演抄録集:78 頁, 2015.
- 19) 伊藤崇史, 金子友厚, 末山有希子, 興地隆史: Lipopolysaccharide 刺激されたラット間葉系幹細胞の細胞増殖と CD146mRNA 発現. 第 36 回日本歯内療法学会学術大会, 鶴見, 2015 年 7 月 12 日, プログラムおよび講演抄録集:77 頁, 2015.
- 20) 伊藤崇史, 金子友厚, 末山有希子, 興地隆史: ラット再生歯髓組織内の幹細胞について. 第 13 回日本再生歯科医学会学術大会・総会, 新潟, 2015 年 8 月 29 日, プログラムおよび講演抄録集:37 頁, 2015.
- 21) Ito T, Kaneko T, Sueyama Y, Okiji T: Dental Pulp Tissue Engineering of Pulpotomized Rat Molars. 第 63 回 JADR 学術大会. JADR Hatton Award competition, 福岡, 2015 年 10 月 29 日.
- 22) 伊藤崇史, 金子友厚, 末山有希子, 興地隆史: 幹細胞混合三次元スキャホールド移植によるラット臼歯冠部歯髓再生. 第 52 回新潟歯学会. 2015 年 11 月 7 日, 新潟, 新潟歯学会雑誌 45(2): 68 頁, 2015.
- 23) 伊藤崇史, 金子友厚, 末山有希子, 興地隆史: ラット冠部歯髓の再生歯髓様組織における DSPP と IL-6 の遺伝子発現について. 日本歯科保存学会 2015 年度春季学術大会 (第 143 回), 東京, 2015 年 11 月 12-13 日.
- 24) 伊藤崇史, 金子友厚, 末山有希子, 興地隆史: ラット再生歯髓組織内の幹細胞について. 第 13 回 日本

- 再生歯科医学会学術大会・総会，新潟，2015年8月29日。
- 25) 日向 剛，吉羽邦彦，枝並直樹，武井絵梨花，重谷佳見，吉羽永子，興地隆史：各種ケイ酸カルシウム系覆髄材に対するラット皮下組織反応の免疫組織化学的解析. 日本歯科保存学会 2015 年度春季学術大会（第 142 回），2015 年 6 月 25-26 日，北九州，プログラムおよび講演抄録集：148 頁，2015.
- 26) 日向剛，吉羽邦彦，韓臨麟，枝並直樹，武井絵梨花，吉羽永子，興地隆史：ケイ酸カルシウム系歯内療法用材料の生体機能性—ラット皮下組織内移植後の材料表面の微細構造学的観察—。第 36 回日本歯内療法学会学術大会，鶴見，2015 年 7 月 11-12 日。
- 27) 日向 剛，吉羽邦彦，韓 臨麟，枝並直樹，吉羽永子，興地隆史：ケイ酸カルシウム系覆髄材の生体機能性ラット皮下組織内埋入による in vivo の検討。平成 27 年度新潟歯学会第 2 回例会。2015 年 11 月 7 日，新潟，新潟歯学会雑誌 45(2)：109 頁，2015.
- 28) 枝並直樹，重谷佳見，吉羽邦彦，日向 剛，吉羽永子，興地隆史：ラット皮下組織における 4-META 含有レジン系シーラーの生体適合性。日本歯科保存学会 2015 年度春季学術大会（第 142 回），2015 年 6 月 25-26 日，北九州，日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集 142 回：158 頁，2015.
- 29) 枝並直樹，吉羽邦彦，武井絵梨花，日向 剛，竹内亮祐，遠間愛子，重谷佳見，吉羽永子，興地隆史：各種ケイ酸カルシウム系セメントによるラット臼歯直接覆髄後の被蓋硬組織形成。日本歯科保存学会 2015 年度秋季学術大会（第 143 回），2015 年 11 月 12-13 日，東京，プログラムおよび講演抄録集：148 頁，2015.
- 30) 末山有希子，金子友厚，伊藤崇史，興地隆史：歯髄幹細胞における CD146 mRNA 発現に対する lipopolysaccharide 刺激の影響。日本歯科保存学会 2015 年度春季学術大会(第 142 回)，北九州，2015 年 6 月 25-26 日，プログラムおよび講演抄録集：142 頁 2015.
- 31) 末山有希子，金子友厚，伊藤崇史，興地隆史：ヒト脱落乳歯歯髄幹細胞における CD146, MAP1B mRNA 発現に対する lipopolysaccharide 刺激の影響。第 36 回日本歯内療法学会学術大会，鶴見，2015 年 7 月 11-12 日。
- 32) 末山有希子，金子友厚，伊藤崇史，興地隆史：Lipopolysaccharide 刺激後のヒト脱落乳歯歯髄幹細胞の CD146 mRNA 発現と細胞増殖に関する経時的検索。第 13 回 日本再生歯科医学会学術大会・総会，新潟，2015 年 8 月 29 日。
- 33) Sueyama Y, Kaneko T, Ito T, Okiji T: Lipopolysaccharide-stimulation causes proliferation of stem cells of the dental pulp: Double immunoperoxidase labeling analysis, 第 56 回日本組織細胞化学会，大阪，2015 年 10 月 3-4 日。
- 34) Sueyama Y, Kaneko T, Ito T, Okiji T: Lipopolysaccharide-stimulated dental pulp stem cells show increases of CD146mRNA expression and cell proliferation. 第 63 回 JADR 学術大会，福岡，2015 年 10 月 30-31 日。
- 35) 渡部 平馬，浅井哲也，風間龍之輔，金谷史夫，石崎裕子，福島正義：各種 CAD/CAM 用修復材料の表面組成について。第 26 回日本歯科審美学会学術大会，東京，11 月 22-23 日。
- 36) 渡部平馬，浅井哲也，風間龍之輔，石崎裕子，福島正義：各種 CAD/CAM 用修復材料に対するフッ化水素酸処理の影響。第 34 回日本接着歯学会学術大会，東京，2015 年 12 月 19-20 日，接着歯学 33(3)：136 頁，2015.
- 37) 大倉麻里子，大倉直人，吉羽永子，吉羽邦彦，依田浩子，大島勇人，齋藤 功，興地隆史：実験的歯の移動におけるラット臼歯歯髄内 prostaglandin I2 合成酵素と受容体の発現解析。平成 27 年度新潟歯学会第 1 回例会。2015 年 7 月 11 日，新潟，新潟歯学会雑誌 45(2)：97-98 頁，2015.
- 38) 魚島勝美，天雲太一，竹内裕尚，小野和宏，吉羽邦彦，秋葉奈美，二川浩樹，津賀一弘，田地 豪，首藤崇裕，三村純代，菅井基行，佐々木啓一，前田健康：標準化された病態顎模型を用いた客観的歯科臨床技能評価方法の開発(第 2 報)。第 34 回日本歯科医学教育学会学術大会，2015 年 7 月 10-11 日，鹿児島，日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集 34 回：81 頁，2015.

【受賞】

- 1) Sueyama Y, Kaneko T, Ito T, Okiji T: Effects of lipopolysaccharide-stimulation on CD146 and MAP1B mRNA expression in dental pulp stem cells. Best poster award FDI 2015 Annual World Dental Congress, Thailand, September 22-25, 2015.
- 2) 伊藤崇史，金子友厚，山中裕介，末山有希子，吉羽邦彦，興地隆史：ラット臼歯における幹細胞混合三次元スキャホールドを用いた歯髄再生。優秀ポスター賞 日本歯科保存学会 2014 年度春季学術大会(第 142 回)，北九州，2015 年 6 月 25 日。
- 3) 渡部平馬，浅井哲也，風間龍之輔，石崎裕子，福島正義：各種 CAD/CAM 用修復材料に対するフッ化水素酸処理の影響。発表優秀賞 第 34 回日本接着歯学会学術大会，東京，2015 年 12 月 19 日。プログラム

および講演抄録集：154頁，2015.

【研究会発表】

- 1) 韓 臨麟: S-PRG filler 抽出液による根尖部象牙細管の封鎖. 生体機能性ガラス S-PRG filler 研究会, 京都, 2015年10月26日.

小児歯科学分野

【著書】

- 1) 早崎治明: 27 小児歯科・口腔外科疾患 歯, 顎の外傷. 今日の小児治療指針 第16版(水口 雅 他編), 913-914頁, 医学書院, 東京, 2015.
- 2) 齊藤一誠, 早崎治明: 第19章 顎関節症. 小児歯科学ベーシックテキスト(新谷誠康 他編), 356-364頁, 永末書店, 京都, 2016.

【論文】

- 1) Tsugata T, Nikoh N, Tatsuya Kin, Saitoh I, Noguchi Y, Ueki H, Watanabe M, James Shapiro A, Noguchi N: Potential factors for the differentiation of ES/iPS cells into insulin-producing cells, *Cell Med* 7(2): 83-93, 2015.
- 2) Inada E, Saitoh I, Yong Y, Tomiyama D, Murakami D, Takemoto Y, Morizono K, Iwasaki T, Yamasaki Y: Quantitative evaluation of toothbrush and arm-joint motion during tooth brushing, *Clin Oral Investig* 19(6): 1451-1462, 2015.
- 3) Sato M, Inada E, Saitoh I, Matsumoto Y, Ohtsuka M, Miura H, Nakamura S, Sakurai T, Watanabe S: A combination of targeted toxin technology and the piggyBac-mediated gene transfer system enables efficient isolation of stable transfectants in nonhuman mammalian cells, *Biotechnol J* 10(1): 143-153, 2015.
- 4) Saitoh I, Inada E, Iwase Y, Noguchi H, Murakami T, Soda M, Kubota N, Hasegawa H, Akasaka E, Matsumoto Y, Oka K, Yamasaki Y, Hayasaki H, Sato M: Choice of feeders is important for the preparation of iPS cells from primarily cultured human deciduous tooth dental pulp cells, *Cell Med* 8(1-2): 9-23, 2015.
- 5) Inada E, Saitoh I, Miura H, Ohtsuka M, Murakami T, Sawami T, Yamasaki Y, Watanabe S, Aoki R, Sato M: PiggyBac transposon-mediated gene delivery efficiently generates stable transfectants derived from cultured primary human deciduous tooth dental pulp cells (HDDPCs) and HDDPC-derived iPS cells, *Int J Oral Sci* 7(3): 144-154, 2015.
- 6) Sato M, Koriyama M, Watanabe S, Ohtsuka M, Sakurai T, Inada E, Saitoh I, Nakamura S, Miyoshi K: Direct

- Injection of CRISPR/Cas9-Related mRNA into Cytoplasm of Parthenogenetically Activated Porcine Oocytes Causes Frequent Mosaicism for Indel Mutations, *Int J Mol Sci* 16(8): 17838-17856, 2015.
- 7) Miyagi-Shiohira C, Kurima K, Kobayashi N, Saitoh I, Watanabe M, Noguchi Y, Matsushita M, Noguchi H: Cryopreservation of Adipose-Derived Mesenchymal Stem Cells, *Cell Med* 8(1-2): 3-7, 2015.
 - 8) Noguchi H, Miyagi-Shiohira C, Kurima K, Kobayashi N, Saitoh I, Watanabe M, Noguchi Y, Matsushita M: Islet culture/preservation before islet transplantation (Review), *Cell Med* 8(1-2): 25-29, 2015.
 - 9) Sato M, Kagoshima A, Saitoh I, Inada E, Miyoshi K, Ohtsuka M, Nakamura S, Sakurai T, Watanabe S: Generation of α -1,3-galactosyltransferase-deficient porcine embryonic fibroblasts by CRISPR/Cas9-mediated knock-in of a small mutated sequence and a targeted toxin-abled selection system, *Reprod Domest Anim* 50(5): 872-880, 2015.
 - 10) Sano-Asahito T, Suzuki A, Matsuyama J, Mitomi T, Kinoshita-Kawano S, Hayashi-Sakai S, Asahito T: Self-esteem and oral condition of institutionalized abused children in Japan, *J Clin Pediatr Dent* 39(4): 322-325, 2015.
 - 11) Matsuyama J, Kinoshita-Kawano S, Hayashi-Sakai S, Mitomi T, Sano-Asahito T: Severe impaction of the primary mandibular second molar accompanied by displacement of the permanent second premolar, *Case Rep Dent* 2015 (Aug 27): Article ID 582462, 2015.
 - 12) Kurosawa M, Oda M, Domon H, Saitoh I, Hayasaki H, Terao Y: *Streptococcus pyogenes* CAMP factor attenuates phagocytic activity of RAW 264.7 cells, *Microbes Infect* 18(2): 118-127, 2016.
 - 13) Nakamura Y, Masuda K, Yamaza H, Nonaka K: Central odontogenic fibroma associated with eruption disturbance of a permanent incisor in a six-year-old girl, *Int J Dentistry Oral Sci* 03(3): 205-208, 2016
 - 14) Noguchi H, Saitoh I, Tsugata T, Kataoka H, Watanabe M, Noguchi Y: Induction of tissue-specific stem cells by reprogramming factors, and tissue-specific selection: *Cell Death Differ* 22(1): 145-155, 2015.
 - 15) Hayashi-Sakai S, Numa-Kinjoh N, Sakamoto M, Sakai J, Matsuyama J, Mitomi M, Sano-Asahito T, Kinoshita-Kawano S: Non-destructive evaluation of size and mineral density in exfoliated teeth with hypophosphatasia: a case report, *J Clin Pediatr Dent* (in press).